ロ　「酸性タイプ」の表示に際しては、枠を設け「酸性タイプ」と赤系色で表示することとし、容器、ラベル等の色により「酸性タイプ」の文字が目立たない場合は、ラベル又は枠内の色を変える等特に目立つ方法を用いて表示すること。文字の大きさは、当該製品の「使用上の注意」の表示に用いる文字の大きさより八ポイント以上大きくすること。

ハ　塩素系の製品と一緒に使うと有害な塩素ガスが出て危険である旨の表示に際しては、枠を設け「塩素系」及び「危険」の文字を用いて表示すること。「塩素系」及び「危険」の文字は赤系色で、当該製品の「使用上の注意」の表示に用いる文字の大きさより四ポイント以上大きくすることとし、「塩素系」及び「危険」以外の文字に使用する文字の大きさは、当該製品の「使用上の注意」の表示に用いる文字の大きさより一ポイント以上大きくすること。

（十二）　別記二「塩素ガス発生試験（塩素系）」で規定する試験又はこれと同等以上の精度を有する試験で測定した結果、一・〇ｐｐｍ以上塩素ガスを発生するものについては、次に掲げる特別注意事項を表示すること。

イ　「まぜるな　危険」

ロ　「塩素系」

ハ（1）　酸性タイプの製品と一緒に使う（混ぜる）と有害な塩素ガスが出て危険である旨。

（2）　目に入った時は、すぐに水で洗う旨。

（3）　子供の手に触れないようにする旨。

（4）　必ず換気を良くして使用する旨。

（十三）　特別注意事項の表示は、容器（箱に入っているものについては箱及び容器。以下同じ。）ごとに、商品名の記載のある面と同一の面の目立つ箇所に次により記載してすることとし、イ、ロ及びハの表示はそれぞれ隣接した位置に行うこと。

イ　「まぜるな　危険」の表示に際しては、枠を設け白地に「まぜるな　危険」と表示すること。「まぜるな　危険」の文字は黄色に黒の縁取りをし、二十八ポイント以上（製品の排除体積（キャップを含む。以下同じ。）が二百十ミリリットル以下のものにあっては二十六・二五ポイント以上）の大きさで表示すること。

ロ　「塩素系」の表示に際しては、枠を設け「塩素系」と黄系色で表示することとし、容器、ラベル等の色により「塩素系」の文字が目立たない場合は、ラベル又は枠内の色を変える等特に目立つ方法を用いて表示すること。文字の大きさは、当該製品の「使用上の注意」の表示に用いる文字の大きさより八ポイント以上大きくすること。

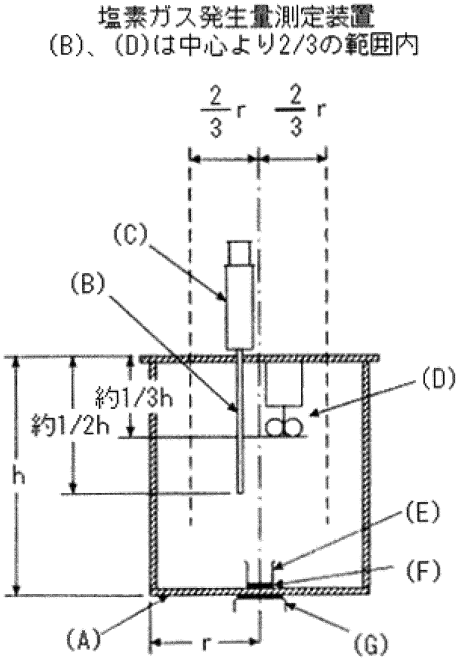
ハ　（1）から（4）までの事項の表示に際しては、枠を設け表示すること。この際、（1）については「酸性タイプ」及び「危険」の文字を用いて表示することとし、「酸性タイプ」及び「危険」の文字は赤系色で、当該製品の「使用上の注意」の表示に用いる文字の大きさより四ポイント以上大きくすること。「酸性タイプ」及び「危険」以外の文字に使用する文字の大きさは、当該製品の「使用上の注意」の表示に用いる文字の大きさより一ポイント以上大きくすること。

別記一

塩素ガス発生試験（酸性タイプ）

（一）　装置及び器具

次の図のような合成樹脂容器の蓋に検知管及びファンを取り付け、ファンは下向きに送風できるようにする。



図中（A）～（G）の内容については以下のとおり。

（A）　合成樹脂容器

プラスチック製蓋付容器（丸形）、呼び容量二十リットル（ただし容量の許容差はプラス十パーセント、マイナス四パーセントとする。）。使用時にはシール等により密閉性を良くすること。

（B）　塩素ガス検知管

試料採取量百ミリリットル一回において塩素ガス濃度〇・五～十ｐｐｍ程度の範囲を測定できるもの。

（C）　ガス採取器（百ミリリットル）

（D）　槽内攪拌（かくはん）用軸流ファン

羽根（数四～五枚、直径五～七センチメートル、片面面積二百二十～三百二十平方ミリメートル／枚で総面積千百～千三百平方ミリメートルとなる角度付きのもの）、回転数五十ヘルツで約二千五百ｒｐｍ、六十ヘルツで約三千ｒｐｍ

（E）　十ミリリットルビーカー

（F）　スターラーピース（長さ一センチメートル）

（G）　マグネチックスターラー

（二）　測定方法

イ　合成樹脂容器の底に、ピペットを用いて酸性タイプの製品の原液三ミリリットル（又は三グラム）を入れた十ミリリットルビーカーを置く。

ロ　（三）で定める塩素系基準溶液三ミリリットルをイのビーカー内に加える。

ハ　直ちに容器の蓋をして、マグネチックスターラーにて混合し、槽内をファンで攪拌（かくはん）する。

ニ　両液混合から五分間後、ガス採取器を検知管の後に接続して容器内のガスを百ミリリットル一回吸引して測定し、得られた数値から、次式により塩素ガス濃度を算出する。

$$\text{塩素ガス濃度（ppm）} = \frac{\text{測定塩素ガス濃度（ppm）}}{3} \times \frac{\text{合成樹脂容器の容量（ℓ）}}{20}$$

ホ　室温・液温は二十度プラス・マイナス五度とする。